

平成28年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

1. 競技力向上に関する事業

《強化》

1) 強化関連会議・施策など

- 4月 3日(日) 強化委員会
- 5月27日(金) 強化委員会 ※メール会議
- 9月17日(土) 強化委員会
- 11月25日(金) 強化委員会 ※メール会議
- 1月30日(月) 強化委員会
- 3月 1日(水) 強化委員会

※2019・20強化施策案を見直した。

※海外強化拠点(スペイン・ハンガリー・デンマーク)への派遣実施。

※平成28年度JSC「女性アスリートの戦略的強化・支援プログラム」(スポーツ庁委託事業)の実施。

※平成29年度強化スタッフを選定した。

※平成29年度強化スケジュールを策定した。

※平成29年度「JOC強化指定選手」第1四半期の選出、JOCへ提出

2) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
男女代表	日韓定期戦 2016	06/25	韓国・ソウル	男子 KOR 29-24 JPN 女子 KOR 37-17 JPN
男女U-24	第23回世界学生選手権	06/27-07/03	スペイン・マラガ	男子: 1:ROU 2:KOR 3:ESP 4:JPN 5:EGY 6:RUS 7:POR 8:TPE 女子: 1:ESP 2:ROU 3:POL 4:RUS 5:JPN 6:CZE 7:IND 8:URU
女子U-20	第20回女子ジュニア世界選手権	07/03-07/15	ロシア・モスクワ	1:DEN 2:RUS 3:ROU 4:GER 5:NOR 6:SWE 7:KOR 8:CRO 9:NED 10:HUN 11:BRA 12:ESP 13:FRA 14:ANG 15:JPN 16:ARG 17:MNE 18:CHN 19:AUT 20:EGY 21:TUN 22:CHI 23:KAZ 24:UZB
男子U-19 女子U-18	第4回東アジアU-22選手権	07/04-07/10	中国・蘇州市	男子:1:KOR 2:TPE 3:JPN 4:CHN 5:HKG 女子:1:KOR 2:CHN 3:JPN 4:TPE
女子U-18	第6回女子ユース世界選手権	07/19-07/31	スロバキア ・プラティスラバ	1:RUS 2:DEN 3:KOR 4:NOR 5:HUN 6:FRA 7:SWE 8:CRO 9:EGY 10:ANG 11:GER 12:BRA 13:SVK 14:ROU 15:ESP 16:SLO 17:JPN 18:ARG 19:PAR 20:CHI 21:KAZ 22:CHN 23:COD 24:UZB
男女代表	第21回ヒロシマ国際	07/22-07/24	日本・広島県	男子: 1:JPN (日本代表) 2:湧永製菓 3: CHN (江蘇省) 女子:1:JPN (日本代表) 2:CHN (江蘇省) 3:DEN (SK オーフス) 4:(広島メイプルレッズ)

男子U-21	第15回男子ジュニアアジア選手権	07/22-08/01	ヨルダン・アンマン	1:QAT 2:KSA 3:KOR 4:JPN 5:IRQ 6:BRN 7:IRI 8:JOR 9:UZB 10:CHN 11:IND12:PLE
男子U-19	第7回男子ユースアジア選手権	08/27-09/05	バーレーン ・マナーマ	1:BRN 2:JPN 3:KOR 4:QAT 5:KSA 6:IRQ 7:UZB 8:CHN 9:HKG
女子U-16	第20回日韓スポーツ交流(受入)	09/07-09/12	日本・愛知県	JPN 25 (15-10, 10-11) 21 KOR
男子U-16	日韓スポーツ交流2016(派遣)	09/19-09/24	韓国・仁川市	JPN 30 (12-11, 18-19) 30 KOR
女子U-16	第20回日韓スポーツ交流(派遣)	10/16-10/21	韓国・仁川市	JPN 20 (12-12, 8-8) 20 KOR
男子U-16	日韓スポーツ交流2016(受入)	10/26-10/31	日本・沖縄県	JPN 21 (9-7, 12-13) 20 KOR
男子代表	第25回男子世界選手権2017	01/11-01/29	フランス	1:FRA 2:NOR 3:SLO 4:CRO 5:ESP 6:SWE 7:HUN 8:QAT 9:GER 10:DEN 11:BLR 12:RUS 13:EGY 14:ISL 15:MKD 16:BRA 17:POL 18:ARG 19:TUN 20:KSA 21:CHI 22:JPN 23:BRN 24:ANG
女子代表	第16回女子アジア選手権	03/13-03/22	韓国・水原市	1:KOR 2:JPN 3:CHN 4:KAZ 5:UZB 6:VIE 7:IRI 8:HKG

3) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数計(役員、選手)
男子代表	カタール国際親善試合	07/03-07/12	カタール	25名(役員7名、選手18名)
女子代表	第1回欧州遠征	08/01-08/12	デンマーク	26名(役員6名、選手20名)
男子代表	第1回欧州遠征	08/01-08/14	ハンガリー	26名(役員7名、選手19名)
女子代表	第2回欧州遠征	11/19-12/09	スペイン ハンガリー	27名(役員7名、選手20名)
男子代表	第2回欧州遠征	12/28-01/10	スペイン	27名(役員8名、選手19名)

4) 国内強化合宿(男女代表)

チーム名	場所	日程	参加人数(役員・選手)	トーカー	トレーナー
男子代表	第1回 ANTC	05/23-05/28	35名(役員8名、選手27名)	—	寺尾邦仁
	第2回 ANTC	06/02-06/24	31名(役員9名、選手22名)	—	寺尾邦仁
	第3回 ANTC	07/12-07/21	32名(役員9名、選手23名)	—	寺尾邦仁
女子代表	第1回 ANTC	06/15-06/24	23名(役員7名、選手16名)	—	高野内俊也
	第2回 ANTC	07/12-07/21	34名(役員7名、選手27名)	—	高野内俊也
	第3回 ANTC	01/09-01/12	31名(役員9名、選手22名)	—	岩谷美菜子 井口郁子
	第4回 ANTC	01/29-02/01	31名(役員9名、選手22名)	—	岩谷美菜子 井口郁子

	第5回 ANTC	02/04-02/08	31名(役員9名、選手22名)	—	岩谷美菜子 井口郁子
	第6回 ANTC	02/27-03/10	28名(役員7名、選手21名)	—	高野内俊也 岩谷美菜子

5) 国内強化合宿 (男女 under 代表)

チーム名	場 所	日 程	参加人数(役員・選手)	ドクター	トレーナー
男子U-24	第1回 ANTC	05/28-06/01	21名(役員4名、選手17名)	—	尾中祐二
	第2回 ANTC	06/18-06/23	20名(役員4名、選手16名)	—	尾中祐二
男子U-21	第1回 ANTC	05/24-05/29	29名(役員7名、選手22名)	—	山木俊彦
	第2回 ANTC	06/10-06/14	29名(役員7名、選手22名)	—	山木俊彦
	第3回 愛知県	07/12-07/18	25名(役員7名、選手18名)	有田忍	山木俊彦
男子U-19	第1回 ANTC	05/20-05/24	29名(役員7名、選手22名)	—	飯田純一郎
	第2回 ANTC	06/29-07/03	25名(役員7名、選手18名)	—	飯田純一郎
	第3回 埼玉県	08/22-08/24	23名(役員7名、選手16名)	—	飯田純一郎
男子U-16	第1回 ANTC	06/24-06/27	29名(役員7名、選手22名)	—	市川央人
	第2回 ANTC	09/16-09/19	20名(役員4名、選手16名)	—	薄 勝也
	第3回 沖縄県	10/24-10/31	20名(役員4名、選手16名)	—	渡部哲史
女子U-24	第1回 ANTC	05/24-05/28	21名(役員5名、選手16名)	—	高野内俊也 田中健一
	第2回 北國銀行	06/07-06/12	21名(役員5名、選手16名)	—	田中健一
	第3回 北國銀行	06/15-06/23	20名(役員4名、選手16名)	—	田中健一
女子U-20	第1回 神奈川県	05/27-05/29	25名(役員3名、選手22名)	—	岩谷美菜子
	第2回 神奈川県	06/17-06/19	21名(役員3名、選手18名)	—	岩谷美菜子
	第3回 ANTC	06/26-06/29	23名(役員5名、選手18名)	—	岩谷美菜子
女子U-18	第1回 ANTC	05/10-05/14	27名(役員4名、選手23名)	貝沼圭吾	宿利政夫
	第2回 ANTC	06/22-06/27	23名(役員5名、選手18名)	貝沼圭吾	宿利政生
女子U-16	第1回 ANTC	04/09-04/12	26名(役員4名、選手22名)	—	内田春菜
	第2回 愛知県	09/04-09/07	20名(役員4名、選手16名)	—	内田春菜
	第3回 ANTC	10/13-10/16	20名(役員4名、選手16名)	—	内田春菜

6) ドクター・トレーナー帯同 (遠征・大会)

チーム名	遠征・大会名	日 程	場 所	ドクター	トレーナー
男女代表	日韓定期戦 2016	6/25	韓国・ソウル	—	寺尾邦仁 高野内俊也
男女U-24	第23回世界学生選手権	06/27-07/03	スペイン ・マラガ	沖本信和	尾中祐二 田中健一
男子代表	カタール国際親善試合	07/03-07/12	カタール ・ドーハ	—	寺尾邦仁
女子U-20	第20回女子ジュニア世界選手権	07/03-07/15	ロシア ・モスクワ	大西信三	岩谷美菜子
男子U-19 女子U-18	第4回東アジアU-22選手権	07/04-07/10	中国・蘇州市	田村格	飯田純一郎 宿利政生
女子U-18	第6回女子ユース世界選手権	07/19-07/31	スロバキア ・ブラティスラバ	貝沼圭吾	宿利政生

男女代表	第 21 回ヒロシマ国際	07/22-07/24	日本・広島県	—	寺尾邦仁 高野内俊也 内田春菜
男子 U-21	第 15 回男子ジュニアアジア選手権	07/22-08/01	ヨルダン ・アンマン	有田忍	山木俊彦
女子代表	第 1 回欧州遠征	08/01-08/12	デンマーク	—	高野内俊也 岩谷美菜子
男子代表	第 1 回欧州遠征	08/01-08/14	ハンガリー	—	寺尾邦仁
男子 U-19	第 7 回男子ユースアジア選手権	08/27-09/05	バーレーン・ マナーマ	大西信三	飯田純一郎
女子 U-16	第 20 回日韓スポーツ交流 (受入)	09/07-09/12	日本・愛知県	—	内田春菜
男子 U-16	日韓スポーツ交流 2016 (派遣)	09/19-09/24	韓国・仁川市	—	薄 勝也
女子 U-16	第 20 回日韓スポーツ交流 (派遣)	10/16-10/21	韓国・仁川市	—	内田春菜
男子 U-16	日韓スポーツ交流 2016 (派遣)	10/26-10/31	日本・沖縄県	—	渡部哲史
女子代表	第 2 回欧州遠征	11/19-12/09	スペイン ハンガリー	—	高野内俊也 岩谷美菜子
男子代表	第 2 回欧州遠征	12/28-01/10	スペイン	—	寺尾邦仁
男子代表	第 25 回男子世界選手権 2017	01/11-01/29	フランス	有田忍	寺尾邦仁
女子代表	第 16 回女子アジア選手権	03/13-03/22	韓国・水原市	井本光次郎	高野内俊也 岩谷美菜子

7) JOCジュニアオリンピックカップ大会

男子優勝：大分選抜 女子優勝：大分選抜

オリンピック有望選手の選考

男子 該当者なし

女子 橋口和佳奈（松橋中学校）

8) 日本代表チーム

(1) 男子代表が 3 大会ぶりに第 25 回男子世界選手権に出場。予選リーグでブラジル・ポーランドと接戦をするものの勝ち点を獲得出来ず、決勝トーナメント進出とはならずブレジデントカップへまわり、最終結果として 22 位であった。

(2) 女子代表は第 16 回女子アジア選手権において第 2 位となり、第 23 回女子世界選手権（ドイツ）の出場権を獲得した。

(3) 第 25 回男子世界選手権をもってカルロス オルテガ男子代表監督は契約満了となり、新たにダグル シグルドソン氏が男子代表監督に就任した。

9) under 代表チーム

(1) 男子については、U-24 が世界学生選手権にて第 4 位、U-21 がジュニアアジア選手権にて第 4 位（ジュニア世界選手権獲得ならず）、U-19 がユースアジア選手権にて第 2 位（ユース世界選手権出場権獲得）という成績であった。

女子については、U-24 が世界学生選手権にて第 5 位、U-20 がジュニア世界選手権にて第 15 位、U-18 がユース世界選手権にて第 17 位という成績であった。

(2) カテゴリー強化合宿などを計画に基づき実施した。

10) 強化支援グループ

(1) 強化企画運営チーム

男子代表では、カタール・ハンガリーへの遠征・女子代表ではデンマーク・スペイン・ハンガリーへの遠征の企画サポートを実施した。

広島国際後のキャラバンとして、事業本部と連携して男子については大分県で、女子については福井県&石川県で企画&実施した。

海外強化拠点への選手派遣（個人）については、受入可能なチームの情報収集と選択を行った。

(2) 環境企画運営チーム

情報科学専門委員会と連携して国際情報の収集・管理、スマートシステム・チェルダスを活用し、サポートの充実を図った。

トレーナー部会との連携により、フィールドテストの項目の再検討、統一化を図った。Japan Cyber Physical System 構築プロジェクト（スポーツ庁委託事業・スポーツ研究イノベーション拠点形成事業）との連携により、傷害・コンディショニングデータベースの活用（ユーフォリア社の One Tap を利用）の推進、選手位置のリアルタイム測定（レーザーレーダーを使用）を実施した。

(3) 広報・マーケティングチーム

広報委員会およびマーケティング委員会と連携して代表チームの広報活動を実施した。（ソーシャルネットワークシステムの活用）

11) 分析活動および体力向上策(情報科学委員会)

情報科学専門委員会活動として、国立スポーツ科学センターと共同して、ITC を活用した映像データライブラリ(スマートシステム及びチェルダス)の運用を行った。このことにより、トレーニング及びゲームにおいて、スタッフ・選手の情報の共有を図ることができ、さらに海外チームに在籍選手との情報共有を進めることができた。

分析活動においては、男子世界選手権、女子アジア選手権のシニアチームをはじめ、男女世界学生選手権、男子ジュニアアジア選手権、男子ユースアジア選手権、女子ジュニア世界選手権、女子ユース世界選手権といったアンダーカテゴリーチームのすべての国際大会にアナリストを帯同することができた。活動内容としては、自チームと相手チームに対する分析活動を行うとともに、各国の情報収集及び情報の蓄積を図った。

また、男女強化部会を通じて、ゲーム分析やスカウティングの方法等、全カテゴリーのスタッフに啓発活動を行うとともに、情報交換会を開催した。

体力向上のための事業としては、体力データベースの運用・実施を目指し検討を進めた。NTS ブロックトレーニングでの体力測定値のデータ収集・分析を行い、中高生のトップレベルの体力値についての検討を行った。また、次年度より開始する小学生の体力測定の可否や測定項目について検討会議を行った。

男女全カテゴリーにおけるフィールドテストの測定項目の統一を図る施策の一つとして、トレーナー部会と連携し、測定項目の検証を実施した。今後、各年代別の体力基準値の作成、及びその基準値を基に体力トレーニング目標を設定するためのガイドラインの作成を目指す。

1 2) 医事活動および医科学調査研究(医事専門委員会)

(1) 医事委員会・アンチドーピング特別委員会・トレーナー部会合同会議

第1回6月12日(日)東京理科大神楽坂キャンパス1号館1152教室 出席者14名

- ①新委員紹介
- ②帯同ドクターの取り決め及び年度予定の確認と調整、帯同ドクターマニュアル作成への取り組み
- ③アンチ・ドーピングに関する変更点の確認、e-learning 必修化
- ④トレーナーバッグ/ドクターバッグの準備と管理について
- ⑤ハンドボールメディカルガイドラインの作成について
- ⑥NTSにおけるメディカルチェックについて
- ⑦栄養部門の取り組みについて
 - ・インカレにおける栄養ブース出展について、海外遠征における食事サポートについて
- ⑧障害予防：中学生の3号球使用について
- ⑨選手の疲労度チェックにおけるPOMS使用検討
- ⑩ワンタップ (Japan Physical System 構築プロジェクト)への参入について
- ⑪薬剤管理について

第2回3月4日(土)日本ハンドボール協会事務局 出席者11名、オブザーバー3名

- ①アンチドーピングにつて：ヒゲナミンについて
- ②2016年度の帯同報告及びonetap導入について
- ③2017年度帯同ドクターの取り決めと予定確認
- ④ハンドボールメディカルガイドラインの作成について
 - ・脳震盪についての取り組み等
- ⑤栄養部門の取り組みについて
 - ・インカレ栄養部門ブース及びアンケート調査結果と今後の取り組み
- ⑥障害予防プログラム作成について
- ⑦医事委員会ホームページ作成について

(2) 第3回ハンドボール部会トレーナー研修会

6月12日(日)東京理科大神楽坂キャンパス6号館621教室 参加者100名

- ①アスリートのアレルギー疾患と最新ドーピング知識について 貝沼圭吾
- ②ハンドボールの投動作とパフォーマンス 小笠原一生
- ③ハンドボールにおける傷害の特徴と傷害予防 沖本信和

(3) 第5回日本ハンドボール学会にて発表

- ①シンポジウム「前十字靭帯損傷は防げる！選手を守るための現場的エッセンス」
パネリスト 井本光次郎
コーディネーター 小笠原一生
- ②カッティング動作からみた前十字靭帯損傷前の運動的解析
—実業団女子ハンドボール選手1名における前十字靭帯損傷前の動作解析からの検討— 樋口武士、北岡克彦他
- ③症例報告：前十字靭帯再建術後の発症した腹直筋肉離れ 北岡克彦
- ④前十字靭帯損傷を防ぐための環境整備—受傷時動画の検証から—
村上浩平、大西信三他
- ⑤Handball goalie`s elbowの1例 桂健生、大西信三他

(4) (公財)日本体育協会公認スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー受講者推薦

1 3) 強化部会 (アンダー代表強化部会)

10月22日(土)・23日(日) 女子強化部会

12月10日(土)・11日(日) 男子強化部会

- (1) 年度内の全大会が終了した時点で、男子ではU-24・21・19、女子ではU-24・20・18からの大会報告(準備段階も含めて)より、一貫指導に関する重要課題を抽出してアンダー強化としての課題共有を図った。
- (2) 次年度に向けて一貫指導体制を考慮したスタッフ構成を立案し、強化委員会へ提案した。

1 4) 強化・育成戦略委員会

(1) 強化・育成戦略委員会会議

- ・第1回:4月9日(土) ANTC 組織と事業計画の確認後、テクニカルレポートに基づく日本の課題と各委員会への課題の落とし込みの確認を行った。
- ・第2回:11月6日(土) ANTC 前強化スタッフからの本委員会への提言を受け、日本協会行事日程調整WGの開催を決定、NTS再編案の確認、NTSとジュニアアカデミーとの連動性等についての議論を行った。
- ・第3回:3月11日(土) 日本協会 NTS再編案の具体的実施方法、新指導教本作成前にEHF指導教本の訳本作成、体罰対策等も踏まえた新指導者資格付与の検討、平成29年度事業計画の確認などを行った。

- (2) 日程調整WG:11月27日(日) ANTC 江成委員(競技本部長)を中心とする強化、審判、普及、高体連、中体連のメンバーで、全国高校選抜の1月移行と国体少年U16への移行について議論をスタートさせた。

- (3) テクニカルレポート2015並びにその別冊を作成し、関係部署へ配布した。

2. 発掘・育成事業

《発掘・育成》

《ナショナルトレーニングシステム(NTS)》

1) NTS

- | | | |
|----------------------------------|------------------|---------|
| ①第1回運営会議 | 4月23日(土) | ANTC |
| ②ブロックトレーニングシミュレーション | 5月21日(土)・22日(日) | ANTC |
| ③第1回検討委員会 | 8月17日(水) | ANTC |
| ④ブロックトレーニング | 8月～9月 | 全国9ブロック |
| ⑤第1回内容策定会議 | 11月5日(金) | AP浜松町 |
| ⑥センタートレーニングシミュレーション、第2回運営会議 | 11月26日(土)・27日(日) | ANTC |
| ⑦センタートレーニング(高校生) | 1月5日(月)～7日(水) | ANTC |
| 参加者：男子31名、女子32名、スタッフ55名、補助指導者21名 | | |
| ⑧センタートレーニング(中学生) | 1月7日(水)～9日(月) | ANTC |
| 参加者：男子33名、女子33名、スタッフ49名、補助指導者39名 | | |
| ⑨第2回内容策定会議 | 2月18日(土)・19日(日) | ANTC |

2) JHAジュニアアカデミー(育成活動事業)

- | | | |
|-------------------|-----------------|------|
| ①第1回(中高男子) | 2月8日(水)～11日(土) | ANTC |
| 参加者：選手65名、スタッフ8名 | | |
| ②第2回(中高女子) | 2月11日(土)～14日(火) | ANTC |
| 参加者：選手62名、スタッフ16名 | | |

3) JHAジュニアアカデミー(育成発掘活動事業)

- | | | |
|--------------------|------------------|---------|
| ①第1回キャラバン沖縄 | 12月22日(木)・23日(金) | 沖縄県浦添市他 |
| 参加者：選手130名、スタッフ15名 | | |
| ②第2回キャラバン大分 | 2月4日(土)・5日(日) | 大分県大分市 |
| 参加者：選手51名、スタッフ17名 | | |

4) JHAジュニアアカデミー(発掘活動事業)

- | | | |
|----------------------|------------------|---------|
| ①全国小学生大会視察 | 7月28日(木)～31日(月) | 京都府京田辺市 |
| ②全日本高校選手権大会視察 | 8月1日(月)～5日(金) | 山口県周南市 |
| ③全国中学校大会視察・選考 | 8月24日(水)～27日(土) | 石川県金沢市 |
| ④JOCカップ視察・選手選考 | 12月23日(金)～27日(火) | 沖縄県浦添市 |
| ⑤全国高校選抜大会視察 | 3月23日(木)～27日(月) | 兵庫県神戸市 |
| ⑥春の全国中学生選手権大会視察・選手選考 | 3月24日(金)～28日(火) | 富山県氷見市 |

3. 指導・普及に関する事業

《指導部》

1) 指導者組織・資格関連

① 公認コーチ養成講習会専門科目講習会

6月24日(金)～27日(月) ANTC 受講者：45名

② 公認コーチ養成講習会免除適応コース専門科目検定試験

2月11日(土)～12日(日) ANTC 受講者：38名

③ 公認コーチ養成講習会免除適応コース専門科目検定試験代替措置

3月5日(日) 東京理科大学 受講者：2名

④ 公認指導員養成講習会

実施都道府県：青森県・埼玉県・富山県・静岡県・愛知県・鹿児島県

⑤ 指導委員会全国研修会(日体協指導者資格義務研修)

2月18日(土)～19日(日) ANTC 受講者：25名

2) 指導者講習会関連

① コーチングセミナー ※ ハンドボール学会との共催(日体協指導者資格義務研修)

12月3日(土) ANTC 参加者：130名

② トップ・コーチセミナー(日体協指導者資格義務研修)

2月11日(土)～12日(日) ANTC 参加者：39名

3) テクニカル・情報発信関連

① 全国大会映像配信

実施大会：全国小学生大会(8月)・JOCジュニアオリンピックカップ(12月)
・春の全国中学生選手権大会(3月)

② テクニカル・レポート作成

対象大会：男子世界選手権大会(1月)・女子アジア選手権大会(3月)

③ I H F コーチシンポジウム参加

1月11日(水)～14日(土) フランス・パリ

④ 小学生用イヤーズブック作成 ※平成29年度に日本協会登録した小学生全員に配布予定

4) N T S ・ アカデミー関連

① ブロックトレーニングシミュレーションにおけるインストラクター研修

5月21日(土) ANTC

② ブロックトレーニング引率指導者講習会(日体協指導者資格義務研修)

8月～9月

③ センタートレーニングシミュレーションにおけるインストラクター研修

(日体協指導者資格義務研修)

11月27日(土) ANTC

④ アカデミーとのタイアップによる公認コーチ講習会免除適応コース専門

科目検定試験におけるコーチング実践

2月12日(日) ANTC

《普及部》

《学校体育専門委員会》

- | | | |
|--------------------------------|---------------|----------|
| ①スポーツ庁訪問 | 4月18日(金) | スポーツ庁政策課 |
| ②学校体育専門委員会 | 4月19日(土) | 日本協会事務局 |
| ③学校体育専門小委員会 | 8月1日(月) | 鹿児島県霧島市 |
| ④第19回ハンドボール研究集会 | 8月2日(火)・3日(水) | 鹿児島県霧島市 |
| 参加者：50名 | | |
| ⑤スポーツ庁への要望書提出(学習指導要領改定期；10年ぶり) | 11月28日(月) | スポーツ庁政策課 |
| ⑥授業実践の研究委託(6校) | | |

《マスターズ専門委員会》

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------|
| ①第1回マスターズ専門委員会 | 8月19日(金) | 愛知県豊橋市 |
| ②第24回全日本マスターズ大会 | 8月19日(金)～21日(日) | 愛知県豊橋市 |
| ③第2回マスターズ専門委員会 | 3月4日(日) | 山梨県甲州市 |

《ビーチ専門委員会》

- | | | |
|---------------------|-------------------|----------|
| ①ビーチハンド初心者講習会 | 8月26日(金) | 兵庫県神戸市 |
| ②第1回ビーチ専門委員会 | 8月27日(土) | 兵庫県神戸市 |
| ③第18回全日本ビーチハンド選手権大会 | 8月27日(土)・28日(日) | 兵庫県神戸市 |
| ④第5回アジアビーチ選手権大会派遣 | 9月24日(土)～10月3日(月) | ベトナム・ダナン |

《キャリアサポート専門委員会》

- ①指導普及育成委員会HPに、著名選手にハンドボールライフに関する記事を発信

《車椅子専門委員会》

- | | | |
|----------------|------------------|--------|
| ①第14回日本車椅子競技大会 | 11月12日(土)・13日(日) | 宮城県仙台市 |
|----------------|------------------|--------|

《育成部》

《小学生専門委員会》

- | | | |
|---|------------------|---------|
| ①第1回小学生専門委員会 | 5月14日(土)・15日(日) | ANTC |
| ②第2回小学生専門委員会 | 7月28日(木) | 京都府京田辺市 |
| ③第29回全国小学生大会 | 7月28日(木)～31日(日) | 京都府京田辺市 |
| ④第8回日韓小学生交流事業(派遣) | 8月18日(金)～22日(火) | 韓国・ムアン |
| ⑤第4回全国U-12指導者研修会 | 10月15日(土)～16日(日) | ANTC |
| ⑥第3回小学生専門委員会 | 10月16日(日) | ANTC |
| ⑦第4回小学生専門委員会 | 3月12日(日) | 日本協会事務局 |
| ⑧ブロック普及推進会議&ブロック大会等視察 | | |
| 北海道：6/25・26、東北：12/3・4、関東：1/21・22、北信越：8/6・7、東海：10/29・30、
近畿：8/20、中国：10/22・23、四国：1/14・15、九州：12/24・25 | | |

《中学生専門委員会》

- | | | |
|-------------------|------------------|--------|
| ①第1回中学生専門委員会 | 8月22日(月) | 石川県金沢市 |
| ②第45回全国中学校大会 | 8月21日(日)～24日(水) | 石川県金沢市 |
| ③第2回中学生専門委員会 | 12月23日(金) | 沖縄県浦添市 |
| ④第25回JOC大会 | 12月24日(土)～27日(火) | 沖縄県浦添市 |
| ⑤第3回中学生専門委員会 | 3月26日(日) | 富山県氷見市 |
| ⑥第12回春の全国中学生選手権大会 | 3月26日(日)～29日(水) | 富山県氷見市 |

4. 競技運営に関する事業

1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結 果
4月	第13回東アジアクラブ選手権	4/17-19	韓国・ソウル	男子 1;斗山 2;陸軍 3; 大崎電気 女子 1;ソウル 2; 仁川 3; 北國銀行
7月	第36回全国クラブ選手権西地区	7/9, 10	大分県立総合体育館他	男子 1;フレック福岡 2;宮崎フェニックス 3;HC 大分、あらかき歯科 女子 1;コスモスピックス 2; レキクラブ 3; 徳山クラブ、香川レディーズ
	第36回全国クラブ選手権中地区	7/9, 10	加古川市立総合体育館他	男子 1;HC 同志社 2;FSV TOKAI 3;高山ハートホーレクラブ 女子 1;いろは 2;小松クラブ 女子 3;大阪教員
	第36回全国クラブ選手権東地区	7/9, 10	函館アリーナ他	男子 1;甲府クラブ 2;東陽 3;渡辺組 女子 1;宮城フェニックス 2;オレンジクラブ 3;SAKURAクラブ
	第21回ヒロシマ国際大会	7/22-24	広島市・東区 SC	女子 1;日本代表 2;江蘇省 3;SKホース 4; 広島メイプルズ
	第29回全国小学生大会	7/29-31	京田辺市田辺中央体育館他	男子 1;北陸電力 JBR 2;桃園 HC 3; 神森小 HC 女子 1;浦城小 HC 2;小松 JHC 3;薪小 HC
8月	高松宮記念杯第67回全日本高校選手権大会	8/2-7	周南総合 SC 体育館他	男子 1;岩国工業 2;大分 3;大体大浪商、洛北 女子 1;水海道二 2;明光学園 3; 四天王寺、高松商業
	第21回ジャパンオープントナメント愛媛国体リハサル大会	8/6-9	松山総合コミュニティセンター体育館他	男子 1;HC 和歌山 2;HONDA 3;EHC 女子 1;香川銀行 T・H 2;HC 和歌山 3;大阪ラケット
	第43回全国高等専門学校選手権大会	8/16-18	いしかわ総合 SC	1;豊田高専 2;石川高専 3;米子高専、大阪府大高専
	第24回全日本マスターズ大会	8/20, 21	豊橋市総合体育館他	男子 青 1; 大阪 330HC 赤 1;IMPAL with T 女子 黄 1;微炭酸
	第45回全国中学校大会	8/21-24	いしかわ総合 SC	男子 1;氷見北部中 2;滝ノ水中 3;小松南部中、けやき台中 女子 1;松橋中 2;芦城中 3;鶴城中、東久留米西中
	第18回全日本ビーチハンドボール選手権大会	8/27, 28	神戸アシジュール舞子浜	男子 1;ABG2016 2;ホッチェローズ 3;LALLAPALLOOZA 女子 1;ABG2016 2;SHINE 3;ハミングバート
	高松宮記念杯第6回全日本社会人選手権	8/31-9/4	東根市民体育館	男子 1;トヨタ車体 2;大同特殊鋼 3;大崎電気 女子 1;北國銀行 2;広島メイプルズ 3;三重ハイレットアリス
10月	第71回国民体育大会	10/6-10	花巻市総合体育館他	成年男子 1;愛知県 2;埼玉県 3;宮城県 4;千葉県 成年女子 1;石川県 2;熊本県 3;広島県 4;鹿児島県 少年男子 1;山口県 2;沖縄県 3;茨城県 4;長崎県 少年女子 1;茨城県 2;大阪府 3;香川県 4;福岡県
11月	文部科学大臣杯第14回車椅子競技大会	11/12, 13	仙台市泉総合運動場泉体育館	1;宮城フェニックス 2;ドリーマーズ 3;すわろーず
	高松宮記念杯男子第59回女子第52回全日本学生選手権大会	11/19-23	アスティとくしま他	男子 1;国士舘大 2;明治大 3;大同大、中央大 女子 1;大体大 2;東女体 3;筑波大、桐蔭横浜大

12月	第68回日本選手権大会	12/20-25	エスフォルタアリーナ八王子他	男子 1;大崎電気 2;トヨタ車体 3;大同特殊鋼、トヨタ自動車東日本 女子1;オムロン 2;北國銀行 3;大体大、三重ハイレットアイリス
	第25回JOCシニアオリンピックカップ	12/23-27	浦添市民体育館他	男子 1;大分県 2;福岡県 3;広島県、浦添市 女子 1;大分県 2;熊本県 3;東京都、石川県
2月	全日本社会人チャレンジ2017	2/10-12	和歌山ビッグスクエアホール	男子 1;HC和歌山 2;八光自動車工業 3;EHC 女子 1;HC和歌山 2;HC福井 3;愛媛選抜
3月	第41回日本リーグプレーオフ	男子 3/18, 19 女子 2/25, 26	男子駒沢体育館 女子アクアチームくまもと	男子 1;大崎電気 2;大同特殊鋼 3;トヨタ車体 4;湧永製菓 女子 1;北國銀行 2;広島メイプルレッズ 3;オムロン 4;三重ハイレットアイリス
	第40回全国高等学校選抜大会	3/24-29	グリーンアリーナ神戸他	男子 1;法政二 2;洛北 3;氷見、北陸 女子 1;佼成学園女子 2;水海道二 3;明光学園、大同大大同
	第12回春の全国中学生選手権大会	3/25-29	氷見市ふれあいスポーツセンター他	男子 1;大体大浪商中 2;広島メイプルレッズ JSC 3;氷見北部中、東久留米西中 女子 1;原川中 2;氷見北部中 3;芦城中、住吉一中

2) その他の事業

- (1) 日本協会主催大会（ジャパンオープン、国体、日本選手権、春中）、共催大会（社会人選手権）の管理運営にあたった。
- (2) 平成28年度チーム・選手・チーム役員登録業務を遂行した
- (3) 4月 競技運営に関する通知を発行し、大会運営・競技運営に関する周知を図った。
- (4) 4月 JHAオフィシャル・テクニカルデレゲートの任務を発行し、業務に関する周知を図った。
- (5) 競技役員資質向上のため、講習会を開催した。
 - 6月 愛媛県松山：愛媛県、福井県福井：北信越、東京北区：全国大会審判員
 - 7月 山口県徳山：インターハイ
 - 8月 愛媛県松山：ジャパンオープン、東京港区：JHL 関東東北、京都府宇治：JHL 近畿、愛知県名古屋：JHL 東海、石川県小松：JHL 北信越
 - 10月 岩手県花巻：国体
 - 11月 福島県本宮：福島県、茨城県守谷：茨城県
 - 12月 東京八王子：日本選手権
 - 1月 鹿児島県国分：鹿児島県、北海道函館：北海道
 - 3月 富山県氷見：春中
- (6) 3月 第77回国民体育大会(平成34年度)正規視察(栃木県)を実施した
- (7) 1月 競技運営連絡協議会(東京)を開催した
- (8) 3月 ゴールネット、キャッチネットの品質改良、開発を図るために、検定業者との会合を開催した。

5. 競技規則（審判）に関する事業

月	事業名	開催日程	開催地	概要及び実績
4月	第1回競技規則研究委員会・審判指導に関する小委員会合同会議	4/10	東京都世田谷区	出席者：委員6名，競技本部長，審判部長 レフェリー研修会打合わせ，競技規則変更について
	第13回東アジアクラブ選手権大会	4/15～20	韓国・ソウル	TD：仲田 稔 レフェリー：河合威廷・臼井健を派遣
5月	審査指導委員会・ブロック審判長会議	5/7～8	愛知県知立市他	出席者：審査指導委員9名，ブロック審判長8名， 競技規則研究専門委員長 A/B級審査会打合わせおよび審査基準の統一他
6月	第1回審判部会	6/19	神奈川県横浜市	出席者：競技本部長，正副審判部長
	B級公認審判員審査会〔関東地区〕	6/24～26	栃木県栃木市	受験者28名 審査担当4名を派遣
	全日本大会担当レフェリー研修会	6/25・26	東京都北区	受講者：177名，運営スタッフ：7名
	第1回レフェリーアカデミー	6/25・26	東京都北区	受講者4名
7月	第4回東アジアU-22選手権大会	7/3～11	中国・蘇州	TD：仲田 稔 レフェリー：田淵元雄・村田哲郎を派遣
	A/B級公認審判員審査会〔東地区〕	7/8～10	北海道函館市	受験者A級8名・B級14名 審査担当4名を派遣
	A/B級公認審判員審査会〔中地区〕	7/8～10	兵庫県加古川市	受験者A級15名・B級17名 審査担当6名を派遣
	A/B級公認審判員審査会〔西地区〕	7/8～10	大分県大分市	受験者A級16名・B級17名 審査担当6名を派遣
	第6回女子ユース世界選手権大会	7/16～8/1	スロバキア・ブラティスラバ	レフェリー：太田智子・島尻真理子(IHF指名)を派遣
	第21回ヒロシマ国際大会	7/22～24	広島県広島市	レフェリー：池淵智一・檜崎潔，河合威廷・臼井健， 佐々木皇介・馬場智也を派遣
8月	日本リーグ コーチ・レフェリー合同研修会	8/11	東京都港区	受講者：チーム関係9名，レフェリー38名
	JHAレフェリーコース前期研修会	8/17～19	滋賀県長浜市他	受講者15名，講師4名 講義ならびに実技研修を実施
	トップリーグ連携機構審判研修会	8/20～21	東京都文京区	受講者：2名
	第41回日本リーグ JHL オフィシャル・テクニカルデレゲート研修会	8/11, 20, 21, 27, 9/3, 10	東京，沖縄，愛知，石川，広島，熊本	受講者：56名
9月	第7回男子ユースアジア選手権大会	8/28～9/5	バーレーン・マナーマ	TD：後藤 登(AHF指名)を派遣

	女子U-16 日韓 スポーツ交流・交流戦	9/10	愛知県稲沢市	レフェリー：松本光則・南川裕隆を派遣
	第2回 レフェリーアカデミー	9/16～18	愛知県名古屋市 他	受講者7名，指導者3名
	第2回審査指導委員会	9/22	東京都目黒区	出席者：委員4名，審判部長
	第5回 アジアビーチゲームズ	9/24～10/3	ベトナム・ ダナン	TD：仲田 稔(AHF 指名)を派遣
10 月	第3回 レフェリーアカデミー	10/14～16	福岡県宗像市	受講者8名，指導者2名
	第4回全国U-12 指導者研修会	10/15・16	東京都北区	講師として競技規則研究専門委員長を派遣
	第2回審判部会	10/30	東京都目黒区	出席者：競技本部長，正副審判部長，総務専門委員長
	男子U-16 日韓 スポーツ交流・交流戦	10/30	沖縄県豊見城市	レフェリー：前上里 亘・知念昌平を派遣
	第1回女子 アジアクラブリーグ	10/24～11/2	カザフスタン	レフェリー：太田智子・島尻真理子(AHF 指名)を派遣
	第19回男子 アジアクラブリーグ	10/25～11/6	ヨルダン	レフェリー：本田昭太・田渕元雄(AHF 指名)を派遣
12 月	トップレフェリー研修 会	12/19	東京都八王子市	受講者：日本選手権大会担当レフェリー16名
	第2回 競技規則研究委員会	12/24～25	東京都世田谷区	出席者：委員5名
H 29 1 月	NTS センタートレーニング	1/7，8・9	東京都北区	1/7 レフェリー：島尻真理子・田渕元雄 1/8・9 競技規則研究専門委員長を派遣
	第3回審判部会	1/8	東京都目黒区	出席者：競技本部長，正副審判部長，競技規則研究 専門委員長，総務専門委員長
	第4回審判部会	1/28	東京都北区	出席者：競技本部長，正副審判部長，総務専門委員長
	平成28年度 審判部合同委員会	1/28・29	東京都北区	出席者：競技本部長，審判部長・副部長，各ブロッ クおよび連盟審判長，審判部各専門委員会委員長， 小学生委員会担当者 計21名 平成28年度活動の総括，平成29年度活動内容の検 討・確認他。
2 月	社会人連盟レフェリー コース（B級審査会）	2/10・11	和歌山県和歌山 市	受講者2名，講師2名 講義ならびに競技規則筆記試験・実技試験し，2名 をB級審判員に認定。
	第4回 レフェリーアカデミー	2/17～19	愛知県豊田市	受講者10名，指導者3名
3 月	第16回 女子アジア選手権大会	3/13～22	韓国・水原	レフェリー：太田智子・島尻真理子(AHF 指名)を派遣。

	JHA レフェリーコース 後期研修会	3/25・26	東京都杉並区	受講者 13 名，講師 2 名 講義ならびに実技研修・競技規則筆記試験を実施し，前期後期を総合判定して 9 名を B 級審判員に認定。
--	-----------------------	---------	--------	--

1) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録・その他諸手続き（総務専門委員会）
- (2) 審判研修用資料の企画・製作（審査指導専門委員会，競技規則研究専門委員会，視聴覚専門委員会）
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握（審判部長・副部長，連盟審判長）
- (4) 国際情報収集と競技規則書他の企画・作成（国際専門委員会，競技規則研究専門委員会）
- (5) 他委員会などとの連携強化（審判部長・副部長，日本リーグ審判専門委員会）

2) A/B 級公認審判員審査結果

	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	A 級	B 級	A 級	B 級	A 級	B 級
審査申請者	43 名	69 名	28 名	75 名	41 名	86 名
書類不備	2 名	6 名	0 名	0 名	0 名	0 名
欠席	1 名	2 名	2 名	6 名	2 名	10 名
筆記試験不合格	0 名	1 名	0 名	3 名	4 名	3 名
実技試験不合格	7 名	15 名	8 名	18 名	8 名	8 名
体力試験不合格	0 名		2 名		2 名	
合格者	33 名	45 名	17 名	49 名	30 名	66 名

- ※平成 27 年度 A 級：実技・体力ともに不合格 1 名，B 級：筆記・実技ともに不合格 1 名
平成 28 年度 A 級：実技・体力ともに不合格 2 名，筆記・実技ともに不合格 3 名
B 級：筆記・実技ともに不合格 1 名

3) 公認審判員登録状況 () 内は女性

級	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
終身	100 名(0 名)	93 名(0 名)	91 名(1 名)
国際	13 名(2 名)	12 名(2 名)	12 名(2 名)
A 級	291 名(10 名)	320 名(15 名)	322 名(13 名)
B 級	450 名(27 名)	438 名(23 名)	446 名(27 名)
C 級	856 名(110 名)	844 名(120 名)	887 名(122 名)
D 級	1708 名(350 名)	1814 名(422 名)	1706 名(365 名)
計	3418 名(499 名)	3521 名(582 名)	3464 名(530 名)

6. 総務に関する事業

1) 諸会議の開催

- (1) 評議員会 6月26日(東京)
- (2) 理事会 6月11日(東京) 6月26日(臨時・東京) 9月11日(臨時・東京)
2月11日(東京)
- (3) 常務理事会 4月9日(東京) 5月14日(東京) 10月15日(東京) 11月5日(東京)
12月10日(東京) 1月14日(東京) 3月11日(東京)
- (4) 全国理事長会議
第1回：10月5日(水) 岩手国体競技開始前日に開催。担当常務理事より主な実施事業について報告が行われ、意見交換を行った。
第2回：2月12日(日) 東京にて開催。担当常務理事より主な実施事業について報告が行われ、意見交換を行った。

2) 事務局の移転

事務所移転に伴い、定款を変更（事務所の所在地を変更）

3) 事務局内人事異動

退職2名、新規2名

4) 登記、諸規程の整備

- (1) 登記簿本の変更手続きを実施した。
- (2) 一部規程の改定を行った。

7. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム・役員・レフリース等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー／参加者	大会名称	開催地
4月	男女リーグ代表チーム	第13回東アジアクラブ選手権	韓国・ソウル
	役員	EAHF 会議	韓国・ソウル
6月	男女代表	日韓定期戦 2016	韓国・ソウル
	男女学生	第23回世界学生選手権	スペイン・マラガ
7月	男子代表	カタール国際大会	カタール・ドーハ
	女子ジュニア U-20	第20回女子ジュニア世界選手権	ロシア
	男女 U-22	第4回 U-22 東アジア選手権	中国・蘇州
	役員	EAHF 会議	中国・蘇州
	女子ユース U-18	第6回女子ユース世界選手権	スロバキア
	男女代表	第21回ヒロシマ国際	広島県・広島市
	男子ジュニア U-21	第15回男子ジュニアアジア選手権	ヨルダン・アンマン
8月	男女代表	国際ナショナルサーキット	大分、熊本、福井、石川
	男子代表	欧州遠征	ハンガリー、ブダペスト
	女子代表	欧州遠征	デンマーク・ビルン
	男女小学生 (U-12)	第8回日韓小学生交流	韓国・務安郡
	男女高校生	日韓中ジュニア交流競技会	中国・浙江省
	男子ユース U-19	第7回男子ユースアジア選手権	バーレーン・マナーマ
9月	女子 U-18	女子ユースアジア選手権	インド・ニューデリー
	女子 U-16	日韓スポーツ交流 (受入)	愛知県・名古屋市
	男子 U-16	日韓スポーツ交流 (派遣)	韓国・仁川
10月	男女ビーチ代表	第5回アジアビーチゲームズ	ベトナム・ダナン
	女子 U-16	日韓スポーツ交流 (派遣)	韓国
11月	男子 U-16	日韓スポーツ交流 (受入)	日本・沖縄
	女子代表	スペイン国際大会	スペイン、バレンシア
12月	女子代表	欧州遠征	ハンガリー、ブダペスト
	男子代表	12月欧州遠征	スペイン、マラガ他
1月	男子代表チーム	第25回男子世界選手権	フランス
3月	女子ヤング代表	ヤングおりひめ国際交流	日本・熊本
	女子代表チーム	第16回女子アジア選手権	韓国・水原

以上の行事への参加申請手続き・参加費等の精算・渡航、来日手続き、外務省への支援要請など派遣、招聘に関する事務全般を実施した。

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) IHF 関係

- ①第8回 IHF 理事会 (スロバキア、ブラティスラバ)
- ②第9回 IHF 理事会 (ドイツ、ヘルツォーゲンナウラッハ)
- ③第10回 IHF 理事会 (フランス、パリ)
- ④IHF 理事会などの議事内容の翻訳作業を実施した。
- ⑤各種大会や役員・レフェリース派遣業務の連絡調整を実施した。
- ⑥IHF に関する事務的なエントリー手続き・諸連絡を実施した。

(2) A H F 関係

- ①テクニカルデレゲートならびにレフェリーの派遣に関する手続きを実施した。
- ②各カテゴリーのアジア選手権参加のサポートを実施した。
- ③A H F 会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。

(3) E A H F 関係

- ①4月E A H F 会議 (韓国・ソウル)
- ②7月E A H F 会議 (中国、蘇州)
- ③E A H F 会議議題・議事録の翻訳作業を実施した。
- ④E A H F に関する諸連絡を実施。

3) その他の事業

- (1)平成 28 年度国際人養成プロジェクト参加者無し。
- (2)関係諸国の来日対応 (シンガポールチーム)
- (3)翻訳業務
 - ①大会要綱の翻訳
 - ②海外大会情報の翻訳及び掲示
- (4)スポーツ・フォー・トゥモロー ザンビアチーム来日申請実施(不採用)

8. 財務・会計に関する事業

平成 28 年度は、収入面においては、マーケティング収入や参加料収入等の事業収入が 177, 049 千円と前年度比 38, 105 千円減少したものの、補助金等が 180, 602 千円と前年度比 41, 068 千円増加したことや日本リーグ加盟チームからの特別強化支援金収入もあり事業活動収入は、前年度比 32, 419 千円増加の 762, 824 千円となった。

支出面においては、代表監督の謝金が発生したものの前年度にリオ五輪女子アジア予選を開催したことや事業数の減少により事業費支出は 559, 464 千円と前年度比 93, 213 千円減少、管理費支出は、事務局移転に伴う支出や人件費および常駐業務委託者の増加により 118, 975 千円と前年度比 29, 007 千円増加したが、事業活動支出は、前年度比 64, 205 千円減少の 678, 440 千円となった。その結果、事業活動収支差額は前年度比 96, 631 千円増加の 84, 319 千円となった。

特定資産取崩収入として平成 28 年度のアジア・世界大会出場積立金、欧州遠征費用積立金 111, 340 千円を取崩し、特定費用準備資金として 2019 年女子世界選手権積立金や次年度アジア大会出場積立金、欧州遠征費用積立金等 199, 563 千円を積立てたことや新事務局敷金およびパーティーション設置等固定資産取得支出を計上したことにより当期収支差額は△11, 779 千円、次期繰越収支差額は 33, 371 千円となった。

9. 広報に関する事業

1) 広報

- (1) 広報年間スケジュールに基づき活動を行った
 - ① 定期記者発表 2 回(日本リーグ、日本リーグプレーオフ)
 - ② 臨時記者発表 3 回、代表合宿メディア公開 1 回
 - ③ プレスリリース(メールリリースも含め) 55 回
(男女日本代表情報、各カテゴリー国際大会、国内大会他)
- (2) マスコミ(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ライター他)の取材調整を行った(98 件)
- (3) 代表監督就任記者会見のネット中継をライブにて行った
- (4) マスコミ懇親会を行い、積極的に情報交換を行った
- (5) インターネット(フェイスブック)を利用した情報の発信を図った

2) インターネット

- (1) 日本協会ホームページのリニューアルを実施した
 - ① ファン・一般の方向けと競技者・関係者向けにページの区分けした
 - ② 代表監督就任記者会見の動画をアップした
 - ③ 更新頻度の増加を図った
 - ④ コラム等コンテンツを追加した
- (2) メディアへの露出についてホームページを通じて告知した
- (3) 機関誌のバックナンバー掲載した
機関誌を紙媒体からネット掲載に移行した(5 月から完全移行)

10. 機関誌発行に関する事業

- 1) 施策方針・理事会・各委員会組織からの情報発信として、事業計画、医事委員会、審判委員会、指導委員会などからの方針や報告を適宜掲載した。未掲載の委員会については、積極的に掲載いただくように投げかけるも厳しい状況にあった。都道府県協会からの情報発信についても、要請を試みたが進展がなかった。
- 2) 日本協会ホームページで掲載されている大会の戦評およびスコアを有効に利用し、相互の連携を図った。
- 3) 大会報告記事については、大会事務方に依頼し様々な大会周辺の情報まで記述いただくことができた。より深みのある内容とするには機関誌専門委員会のメンバー等が直接取材できる体制の構築が課題となった。
- 4) 日本協会唯一の広報誌として、商用雑誌の「イベント」とは違った構成に努めたが、一層の相乗効果を狙いとして協調していきたい。
- 5) 年間 8 回の発行を計画通りに実施した。
- 6) 指導者のみならず、選手・部員にも読まれるよう、最終ページには回覧簿を掲載。また回覧簿をチラシとして同封し、活用推進に努めた。
- 7) 29 年度より機関誌は印刷を取りやめ、協会HPでの掲載と切り替わるため、所要の事前準備を遅滞なく実施し、29 年度初からの発行に万全を期した。

1 1. 企画に関する事業

- 1) 代表強化について、事業本部・強化本部・競技本部と連携を強化し、国際サーキット（キャラバン）を実施した。
 - ・男子代表：ヒロシマ国際 → 大分サーキット
 - ・女子代表：ヒロシマ国際 → 北信越（福井・石川・富山）サーキット
- 2) 第 68 回(第 2 回)日本選手権を実行委員会形式で開催。
- 3) 2019 女子世界選手権大会の組織委員会が開催され、平成 29 年度の事業計画が決定された。
- 4) 第 5 回 U-22 東アジア選手権大会(男・女)を平成 29 年 6 月に岩手県花巻市で開催することを決定した。
- 5) 高校生大会の 1 月開催を継続提案。

1 2. マーケティングに関する事業

- 1) 本年度のマーケティング収入は、新規獲得に苦戦し既存のスポンサーとの継続契約が中心となり、目標 100,000 千円に対して、57,300 千円という結果となった。
- 2) 2019 年、2020 年に向けて、新規協賛企業を獲得すべく大手広告代理店と提携し、マーケティング活動を開始し、次年度以降も継続してスポンサーの獲得を目指す。
- 3) マーケティングを再構築するためにプロジェクトチームを発足させ、大手広告代理店と協力しながらハンドボールの魅力・価値を再確認し、新規協賛企業の獲得につなげていく。

13. 日本リーグに関する事業

《チーム設立・基盤強化プロジェクト》

早期実現に向けたプロジェクトの強化

- (1) 女子2チームが平成29年度に新規参加することが決定した。
- (2) 新規に日本リーグ参加するため地方協会と連携してチームを支援した。

《チャレンジ・ディビジョン》

社会人企業チームおよびクラブチームの発展に貢献

- (1) 東西2ブロックのリーグ戦を実施した。2016/9/17～2/5 全56試合を開催。東ブロックはHC岐阜とトヨタ自動車、西ブロックはHC和歌山とHC同志社が決勝トーナメントに進出した。
- (2) 各ブロックのリーグ戦結果による順位決定戦を2/18・19愛知県で16試合を実施。HC和歌山が初優勝、HC岐阜が2位。
- (3) 女子チームのプレ大会は大阪ラヴィッツとアランマーレが参加し2試合実施。
- (4) 全試合レフェリー指導者の配置について、全25開催日中17会場でブロック審判長又は県審判長より指導を行った。
- (5) 全国大会としての再整備のため、都道府県協会への周知を今後も継続して行う。

《特別強化プロジェクト》

強化拠点としてのリーグで、レベルの高い指導者の育成に取り組み、選手育成に活かす。

- (1) 日本協会強化部と連携することによりリーグ戦のスケジュール調整を図った。
- (2) 日本協会指導委員会と連携して資格制度に向けて準備を行った。
- (3) 海外トップチーム（キール）より監督を招聘してリーグ監督の研修会を実施した。

《総務部》

運営基盤の改善および諸整備を推進し日本リーグ運営を強固且つ円滑なものにするための改革。

- (1) リーグ諸事業における実施項目を整理してハンドブックを作成した。
- (2) 円滑な大会運営に必要な実施項目および各種ツールを整理して、会場マニュアルを作成した。
- (3) 開催地責任者研修会を実施し、第三地域との連携強化を図った。
- (4) 運営基盤を改善するためリーグ事務局およびリーグ委員の連携強化を図った。

《マーケティング部》

日本ハンドボールリーグの認知度の向上

- (1) オンラインメディア含めたマスコミ各社との連携を図った。
- (2) リーグとしての情報発信を強化するため、JHLに関する認知度などのマーケティング調査を実施した。
- (3) リーグ協賛社の新規獲得について、オフィシャルスポンサー2社を獲得した。
- (4) レギュラーシーズンの冠スポンサーの獲得について、継続して獲得を目指す。
- (5) プレーオフの付加価値を高めて協賛収入の増加を図り、前年とほぼ同額を獲得した。

《競技・審判部》

レフェリーの技術向上及びチームとの共通理解

- (1) コーチ・レフェリー合同研修会を8/11東京で実施した。チーム関係者9名、レフェリー38名受講。
- (2) JHL オフィシャル研修会を各地にて開催した。8/11東京、20沖縄、21愛知、27石川、9/3広島、10熊本にて開催。合計56名受講
- (3) チャレンジ・ディビジョンへの若手レフェリーの登用と指導を各試合にて実施。

《スケジュール部》

日本リーグの活性化を図りつつ代表活動との連携を図る

- (1)各チームの運営経費軽減を目的に各チームからの要望をできるだけ反映したスケジュール調整を行った。
- (2)活性化及び集客に結びつく日程調整について、チーム希望の平日開催を実施。また、チームが希望する開催地に変更を行った。
- (3)計画的な全国各地への開催地の拡大は、40回大会より1都道府県が増加した。
- (4)男女ペアカードは、40回大会より9試合増加した。
- (5)計画的なスケジュール調整について、大きな問題も無くスケジュール通り実施した。課題として開催権料・会場確保・日程調整(試合数)突発的な国際大会(女子アジア選手権)などが上がった。

《普及部》

リーグ加盟の全チームのジュニアチーム設立と社会貢献および地域密着した活動の実施。

- (1)ジュニアチーム活性化のための相互情報交換の交流会を実施した。
- (2)ジュニアリーグ開催における日本リーグの経費負担軽減策について、日本スポーツ振興センターの助成金を申請した。
- (3)今後の開催場所の計画案を作成した。
- (4)東西リーグチーム分けの再編を実施した。

《記録部》

PCスコアの運用が各会場でスムーズに扱えるように改善し、正確で迅速な情報発信を行う

- (1)PCスコアのスムーズな運用は、各会場大きな問題もなく実施することができた。
- (2)記録データの管理を行い逐次情報発信ができるように整備することができた。更に改善すべく検討を行う。
- (3)記録集(35回~40回まで)を作成し、関係者に配布した。

14. 「がんばれハンドボール20万人会」サポート会に関する事業

1) 平成28年度サポート会員総数(平成29年3月末時点(カッコ内は前年比))

特別会員	1名	(±0)
グラウンド会員	188名	(-23)
ファミリー会員	45名	(-2)
ジュニア会員	46名	(+26)
都道府県ファミリー会員	364名	(+29)
都道府県グループ会員	9,913名	(+209)
総数	10,557名	(+239)

2) 推進活動

- (1)制度一部改訂と多数会員地方協会との意見交換のための訪問調査実施(3県)
- (2)20万人会ニュースの発行
- (3)都道府県ファミリー会員・グループ会員入会の促進
- (4)大会会場における会員の優先席設定

3) 事務局

- (1)毎月の入会・更新作業、事務処理
- (2)制度一部改訂に向けての規約改定、告知、準備

15. 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト

- 1) リオデジャネイロ五輪の視察と現場実習を行った
 - ・8/12～8/25 2020 組織委員会メンバーとして研修実施
- 2) 10月15日 第一回プロジェクト会議実施
- 3) 競技役員・競技ボランティア育成研修会実施
 - ・講師としてRio五輪ハンドボールスポーツマネージャー ダニエラ氏招聘
 - ・東京、愛知、大阪、広島、熊本等全国ツアーとして開催(全12回)
- 4) IHF 視察への対応
 - ・3月25日～4月1日 IHFの五輪会場など視察に対応した。
- 5) スポーツマネージャー常勤化への対応実施

16. 2019 女子世界選手権プロジェクト

- 1) 日本協会に西窪担当常務理事と奥園特任理事(国際スポーツ課 調整監)を設置した。
- 2) 2019 女子ハンドボール世界選手権に向けて熊本県庁内に国際スポーツ課が新設され、組織委員会では理事会が2回開催された。また、熊本国際スポーツ大会実行委員会が設立された。
- 3) 大会基本計画の策定(競技運営、ブランディング戦略、マーケティング、宿泊等の業務別詳細計画)に着手した。
- 4) 大会会場候補として4会場を選定した(パークドーム、アクアドーム、八代総合体育館、山鹿総合体育館)。
- 5) IHFによる会場視察が行われた。
- 6) 平成28年度実施計画書に基づき、男子世界選手権(フランス)視察、国際大会運営スタッフ養成研修会、女性アスリート支援事業、開催1000日前イベントを行うとともに、国内各大会に2019世界選手権のPR隊を派遣し認知度向上に努めた。

17. ガバナンス室

常務理事の役割変更に伴い、当初計画の実行は困難となった。次年度に向けて、対応策を検討した。